

## 協会記事

### 理事会（平成 20 年度第 4 回）

平成 20 年 11 月 18 日（火）17:30～20:45  
当協会役員室において開催。

出席：前島郁雄（会長），大森博雄，長谷紘和，笠原順三，高村弘毅，田村俊和，伊達二郎，松本良，三上岳彦の各理事。江藤哲人，野々村邦夫両理事は欠席（いずれも委任状提出）。

出席監事：嶋崎吉彦，野上道男

#### I. 議事録の承認

平成 20 年度第 3 回理事会議事録は承認された。

#### II. 報告事項

##### 1. 編集委員長報告：笠原理事

(1) 地学雑誌 117 巻 4 号（通常号＋小特集「CO<sub>2</sub> 地中貯留」）が 9 月末，同じく，117 巻 5 号（通常号＋助成金・援助金報告 9 件）が 10 月下旬に発行済みとなった。同 6 号（通常号＋小特集「グローバル気候変動 Part II」）が 12 月下旬に，その後，118 巻 1 号（特集号「メタンハイドレート Part 1」）が 2 月下旬，118 巻 2 号（特集号「泥火山—その実態と応用地球科学的意義—」）が 4 月下旬に発行される予定である。なお，6 月下旬以降に，特集号「メタンハイドレート Part 2」，特集号「海洋地殻内熱水循環と地下微生物圏の相互作用」のいずれかを 118 巻 3 号あるいは 4 号として発行する予定である。

(2) 会員限定で，高解像度の電子ジャーナル版をホームページで公開することを検討中であることが報告された。

##### 2. 行事委員長報告：三上理事

(1) 10 月 25 日に行われた秋季公開講演会の参加者は 63 名であった。

(2) 英国のバスクメダルを受賞された日本山岳会の中村 保氏をメインとする公開講演会（100 名規模）を来年 2 月に開催する予定である。期日，会場は未定。

(3) 今年度の海外見学旅行は，3 月末にトルコを見学先（案内者：伊達理事）として実施する予定で企画中である。

##### 3. 経理委員長報告：伊達理事

平成 21 年度の事業を今年度比で 500 万円程度拡大する必要があること，および，新公益法人制度へ向けての具体策を検討中であることが報告された。

##### 4. 助成委員長報告：大森理事

平成 19 年度の助成金受領者のうちの 1 名が，会計報告を含めて研究概要報告書を提出していない旨，および，地学雑誌への報告原稿は投稿されたが掲載されるにいたっていない旨の報告があり，処理の仕方について，議題として審議されることになった。

##### 5. 日本地学史編纂委員会報告：高村理事

9 月 30 日に行われた編纂委員会議事録（案）に基き，〈戦後日本の地学〉の執筆状況として，国土調査事業に関する原稿執筆が最終段階に入っていることなどが報告された。

##### 6. 将来計画委員長報告：田村理事

日本地球惑星科学連合の第 9 回評議会（11 月 13 日）において，①定款が承認されたこと，②現在の加盟学協会はそのまま団体会員となることが期待されていること，ほかに個人会員の制度を設けること，③個人会員は「宇宙惑星科学」「大気海洋・環境科学」「地球人間圏科学」「固体地球科学」「地球生命科学」「地球科学総合」の 6 つの区分のいずれかに登録し，各登録区分から代議員を選出すること，④「地球科学総合」を除く 5 つは連合の学術活動の主体（セクション）となること，などが決定された旨報告された。

##### 7. 国際惑星地球年関連報告：松本理事

2009 年 5 月に予定している行事「地球とハーモニー」の準備会第 1 回会合を 11 月 11 日に開催し，講演会と演奏会の 2 部構成とし，間に軽食つきのコーヒープレークを設けること，次回の準備会を 12 月 1 日に開催して，年内に具体的な計画を固める予定であることなどが報告された。

##### 8. 庶務委員長報告：長谷理事

(1) 9 月 17 日に行われた文部科学省の実地検査結果について，公式に評価と改善事項の

指摘があった旨、および、2009年4月末日の期限までに、改善すべき事項と改善の方向性について基本的な考え方が報告された。

- (2) 11月12日～14日に行われた税務調査の結果、会館の貸付面積と自家用面積の比率変更や修繕等の比率按分方式についての問題点の指摘があったこと、および、地学雑誌の出版が税法上の収益事業である出版業と認定されるか否かについて、税務署の否定的な見解が示され、これに対応するための作業が進行中である旨が報告された。

#### 9. その他：長谷理事

12月19日（金）14時30分より選挙候補者推薦委員会が開催される予定である。

### Ⅲ. 議 題

#### 1. 会員の入退会について：長谷理事

入会申込者：河内一男、阿部信太郎、小野映介、節田佑介、花岡和聖、計5名の入会が承認された。

逝去による退会者：山崎達雄、堀江正治、鳥居鉄也の3名

希望退会者：箕浦幸治が報告された。

また、飯山敏道、門村 浩、小村幸二郎、諏訪兼位、種村光郎、藤原健蔵、松田時彦の7氏が会費免除会員となることが承認された。

#### 2. 地学雑誌第110巻以降のCD-ROM販売価格と販売時期について

平成19年1月の理事会で決定された販売価格と販売時期を見直し、各巻のCD-ROMが作成され次第販売を開始することと、会員向け価格を1,050円、非会員向け価格を4,200円とすることが提案され、承認された。

#### 3. IGU地域会議準備委員会（仮称）への参加について

2013年に京都で開催されるIGU（国際地理学連合）地域会議に向けて、実行委員会がなすべき仕事などを検討するための地域会議準備委員会の設立が検討されている。当協会が準備委員会の設立を支持すること、および、準備委員会へ1名の委員を出すことが提案され、承認された。

#### 4. ジオエキスパート委員会関連の費用支弁について

当協会会員を講師とする講演会を予定している団体から、費用支弁の要請があった。前例はないが、ホームページ上でのジオエキスパート事業紹介で、当協会が共催あるいは後援団体となって、費用を負担し、人材を派遣することもできるとしている。今回は、札幌一帯広の交通費など、必要な費用を支弁することとし、今後の事業拡充などの方向については、委員会を開催して検討する旨の提案がなされ、承認された。

#### 5. 助成期間の延長について

報告事項4. に関し、助成委員会で検討した結果として、「助成期間中に研究遂行上重大な支障が生じた場合においては、支障の発生した事由や今後の展望などを説明した「助成金期間延長願い」を会長宛提出させ、助成委員会で助成期間の延長の可否を審議・決定し、理事会に報告する。」との処理案が提案され、審議の結果、承認された。

#### 6. その他

次回理事会を、2009年1月26日（月）17時30分から、協会役員室で開催する旨決定された。